

平成29年度 決算を認定

平成29年度一般会計歳入歳出決算ほか3特別会計歳入歳出決算については、議長・監査委員を除く全議員で構成される決算に関する特別委員会（委員長＝鳥飼秀夫、副委員長＝保坂正仁）を設置しました。9月25日から審査を行い、いずれも認定することに決定しました。



▲委員長挨拶の様子

決算の審査経過

9月25日

一般会計歳入歳出決算

○監査委員意見（斎藤泰紀監査委員）

○決算の概況説明（副区長）

○主要施策の成果説明（副区長）

○総括質疑（7会派）

※主な質問項目は別掲

○歳出審査（議会費・総務費）

9月26日

○歳出審査（総務費）

9月28日

○歳出審査（総務費）

10月1日

○歳出審査（総務費・民生費）

10月2日

○歳出審査（民生費・衛生費・環境清掃費・産業経済費）

10月4日

○歳出審査（産業経済費・土木費・教育費）

10月5日

○歳出審査（教育費・公債費・諸支出費・予備費）

○歳入審査（一括審査）

○採決 採決の結果

認定することに決定

国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

○審査

○採決 採決の結果

認定することに決定

介護保険事業特別会計歳入歳出決算

○審査

○採決 採決の結果

認定することに決定

監査委員による決算審査の報告

平成29年度決算審査は、関係諸帳簿及び証拠書類との照合を行うとともに、関係職員から説明を聴取するなどの方法により実施しました。その結果、決算計数に誤りはなく正確であり、各会計の決算内容、予算の執行状況等も適正と認められ、その旨の審査意見を区長あてに提出いたしました。

また、財政健全化法による「平成29年度決算に基づく健全化判断比率」についても、審査の結果、適正である旨の意見を、区長あてに提出しましたことを、あわせて報告いたします。

区は、区民の安全安心の更なる向上を始め、地域力の強化や連携、文化や経済の活性化などに迅速かつ積極的に取り組み、その結果、基金残高、

地方債残高の数字からも健全な財政運営に努めていると評価できます。

しかしながら、今後の財政需要を概観しますと、区財政の先行きは楽観視できるものではないと考えています。

今後、様々な手法を駆使して歳入の確保に努めるとともに、経費節減を意識し、より事業を精査した上で、休止、廃止を含めた効率的・効果的な事務事業の実施、行政評価のあり方についても見直した上で、これまでも増した行政改革を実行するなど、更に健全な財政運営に向けた取り組みを着実に推進されることを期待いたします。

以上、報告とさせていただきます。

平成29年度 決算の概要

		予算現額	歳入(収入率)	歳出(執行率)	歳入歳出 差引残高
一般会計		1,003億9,987万8,000円	944億4,411万183円 (94.1%)	920億9,283万2,204円 (91.7%)	23億5,127万7,979円
特別会計	国民健康保険 事業	304億3,207万1,000円	285億1,535万9,214円 (93.7%)	277億8,082万8,062円 (91.3%)	7億3,453万1,152円
	後期高齢者 医療	48億200万円	45億5,918万3,463円 (94.9%)	45億2,260万532円 (94.2%)	3,658万2,931円
	介護保険 事業	175億1,393万3,000円	164億1,150万4,740円 (93.7%)	160億7,803万2,157円 (91.8%)	3億3,347万2,583円
計		1,531億4,788万2,000円	1,439億3,015万7,600円	1,404億7,429万2,955円	34億5,586万4,645円

平成29年度

荒川区主要施策の成果説明 (一部抜粋・要旨)

生涯健康都市

○がん対策の推進

新たな検診方法として、医療機関で実施する胃内視鏡検診を平成29年度7月から開始し、胃がん検診の精度向上を図った。

子育て教育都市

○区立児童相談所設置に向けた取り組みの推進

児童福祉法の改正を受け、区が児童相談所を設置することで、児童相談行政の充実を図る。29年度は、施設整備にかかる基本設計等を行ったほか、専門人材の確保・充実に加え、地域や関係機関との連携体制の整備を推進した。

産業革新都市

○製造事業者等の販路開拓支援の強化

「機械要素技術展」への共同出展を拡充し、製造事業者の企業間取引における販路開拓をさらに支援するとともに、「モノづくりの街あらかわ」を広くPRした。

環境先進都市

○省エネルギー化の推進

クールシェアの先駆けとなった元祖・本家街なか避暑地及び街なかほっとサロンの協力民間事業者の充実や、楽しみながら省エネや環境学習に取

り組めるあらかわエコポイント事業を実施した。

文化創造都市

○荒川総合スポーツセンターの大規模改修

区民のスポーツニーズに対応し、これまで以上に多くの区民がスポーツを楽しむことのできる環境整備を目指し、荒川総合スポーツセンターの大規模改修を行うため、29年度は、基本設計・実施設計を行った。

安全安心都市

○区内全避難所での避難所開設・運営訓練

地域防災力の向上のため全避難所37か所のうち36か所において、本部運営に重点を置いた避難所開設・運営訓練を実施するとともに、聴覚障がい者団体と連携した訓練や、女性の視点を踏まえた訓練等を行った。

計画推進のために

○荒川区職員ビジネスカレッジ

2年課程の「本科課程」、専門知識の習得や資格取得を応援する「実務専門課程」、自宅での学習を支援する「通信教育支援コース」、管理監督者を対象とした大学院など、多様なカリキュラムを実施した。

主な総括質疑

自民党 明戸 真弓美 委員

- 東京女子医科大学東医療センターの移転後の計画について
- 災害拠点病院の機能を有する医療機関の誘致と地域の賑わいの創出について
- パラリンピックに向けた機運の醸成について
- 障がい者が広くスポーツに気軽に取り組める環境整備について

自民党 菅谷 元昭 委員

- 学校施設における空調設備のモデル体育館での効果検証について
- 災害時の情報伝達におけるデジタル化、文字情報で伝達可能な防災ラジオの検討について
- 児童相談所の設置における専門人材の確保や、里親制度の推進について

公明党 中村 尚郎 委員

- 新公会計制度における、今後の財務データの分析、活用法について
- 有形固定資産減価償却率について
- 公共施設等総合管理計画と公共施設の老朽化における財源対策について

共産党 小島 和男 委員

- 防災ラジオの早期導入、普及について
- 家具転倒防止金具、感震ブレーカー等の屋内安全対策について
- 耐震補強を考慮に入れた住宅のリフォーム補助制度について

民主ゆい 竹内 明浩 委員

- 介護人材の確保及び事務の効率化における区の認識と取り組みについて

日本創新党 小坂 英二 委員

- 児童相談所における、親への心理カウンセリングと職員への研修について

改革の会 藤澤 志光 委員

- 災害拠点病院・連携病院における大規模災害時の電力供給、給水等の整備補助について

市民の会 瀬野 喜代 委員

- 日暮里繊維商店街におけるファッションショーの実施などの活性化支援について



▲区長挨拶の様子



▲委員会の様子